

誰もが住みよい福祉のまちづくり

研究者プロフィール

- ・地域総合学部 地域コミュニティ学科 教授 菅原真枝
- ・専門分野 福祉社会学
- ・所属学会 日本社会学会、日本在宅ケア学会、福祉社会学会
- ・ドイツの社会学者ユルゲン・ハーバーマスの社会理論についての研究の傍ら、特別養護老人ホームでのフィールドワークを続けています。人々の暮らしと福祉制度をつなぐため、福祉のまちづくりの実践活動にも携わっています。



研究内容

- ・ユルゲン・ハーバーマスの社会理論の研究
- ・特別養護老人ホームにおけるユニットケアの課題分析
- ・老人福祉施設と地域社会との関係性
- ・介護分野における外国人ケアワーカーの受け入れ
- ・インドネシア（ジャカルタ、バリ島北部）における介護・看護専門学校および人材派遣会社の調査
- ・日本における外国人人材受け入れ支援機関の調査
- ・バリアフリー・ユニバーサルデザインの進展
- ・障害者のスポーツ・文化活動
- ・誰もが住みよい福祉のまちづくり

関連キーワード

高齢者福祉、障害者福祉、誰もが住みよい福祉のまちづくり

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

- ・ゼミ学生とともに地域の高齢者サロンや児童館を訪問し、介護予防運動、手話ソングを広める活動をおこなっています。
- ・障害のある人もない人も一緒に音楽を楽しみ、音楽のチカラで心のバリアフリーを目指す「とっておきの音楽祭」の運営に携わっています。
- ・現在は、障害当事者と一緒に仙台市内の車椅子トイレの詳細な情報を盛り込んだバリアフリーマップ（デジタルマップ）の作成に着手しています。
- ・実習やゼミの授業をとおして、地域の社会資源をつなぎ、住民のネットワークづくりのお手伝いをするのが可能です。

研究者への連絡先

産学連携推進センター

Email srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

電話 022-354-8122